

# JSA規格

JSA-S1016:2023

## 災害情報共有のための共通 データフレームワーク SIP4D-ZIP

2023年1月25日 発行

ICS 33.040.01

一般財団法人日本規格協会は本書の著作権を含む知的財産に関する権利を有します。

購入者といえども、如何なる形態においても、また書面であると電子的記録物（インターネット等）であるとを問わず、本書の記載の一部あるいは全部を、複製、改変、展示、送信、頒布、譲渡、転載、翻訳等の対象とすることはできません。

一般財団法人日本規格協会は、本書に記載された情報・ノウハウ等の購入者の使用に関与せず、これらの使用によって生じる結果ないし製造された製品等に関する責任も一切負いません。また、この規格の一部が特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性については最終的に使用者が判断すべきであり、一般財団法人日本規格協会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認についても責任を持ちません。

本書を使用する者は、本書に記載された情報・ノウハウ等が一般的な情報に過ぎないことを認識しかつこれを自己の責任において使用、実施する事を保証すると共に、自らの使用ないし自己を介して第三者に使用させることによって生じた全ての結果に関し一般財団法人日本規格協会を免責させるものとします。

## 目次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 SIP4D について	3
4.1 概要	3
4.2 SIP4D による情報共有及び SIP4D-ZIP	4
4.3 SIP4D とのシステム接続の仕組み	4
5 SIP4D-ZIP の概要	5
5.1 SIP4D-ZIP の目的	5
5.2 データフレームワークとしての SIP4D-ZIP	5
5.3 SIP4D-ZIP の仕組み	6
6 共通データフレームワーク “SIP4D-ZIP” の仕様	8
6.1 SIP4D-ZIP の仕様範囲	8
6.2 SIP4D-ZIP 形式ファイルの命名規約	8
6.3 情報種別コード	9
6.4 地理空間データファイル	10
6.5 属性定義ファイル	12
6.6 凡例ファイル	14
6.7 メタデータファイル	18
6.8 TTID	22
7 SIP4D-ZIP 災害対応支援モデルの仕様	23
7.1 SIP4D-ZIP 災害対応支援モデルとは	23
7.2 避難所（点）データの属性仕様	24
7.3 物資拠点（点）データの属性仕様	27
7.4 有床病院（点）データの属性仕様	30
7.5 災害廃棄物仮置き場（点）データの属性仕様	33
7.6 道路通行規制（点）データの属性仕様	36
7.7 道路規制（ライン）データの属性仕様	39
7.8 給水拠点（点）データの属性仕様	42
7.9 断水戸数（点）データの属性仕様	44
7.10 浸水域（ポリゴン）データの属性仕様	46
7.11 河川決壊箇所（点）データの属性仕様	47
7.12 河川決壊箇所（ライン）データの属性仕様	49
7.13 河川決壊箇所（ポリゴン）データの属性仕様	51

7.14	土砂災害発生場所（点）データの属性仕様	53
7.15	土砂災害発生場所（ライン）データの属性仕様	55
7.16	土砂災害発生場所（ポリゴン）データの属性仕様	56
7.17	地域別被害数（点）データの属性仕様	58
7.18	地域別罹災証明発行件数（点）データの属性仕様	60
8	SIP4D-ZIP 検証プログラム	62

## まえがき

この **JSA** 規格は、災害情報共有のための共通データフレームワークについて、国立研究開発法人防災科学技術研究所が開発主体を務める規格開発グループで案を検討・作成し、**JSA** 規格開発制度に基づく作成過程等の確認を経て、2023 年 1 月 25 日付で発行した **JSA** 規格である。

この **JSA** 規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この **JSA** 規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。一般財団法人日本規格協会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

この **JSA** 規格の情報をを用いて利用者が行う一切の行為について、また、当該行為に起因して生じる一切の損害について、一般財団法人日本規格協会は責任をもちない。

この **JSA** 規格は、発行の日から 3 年を経過する日までに見直しを行う。見直しの結果によって、改正又は廃止することがある。また、この **JSA** 規格が将来、**JIS** 若しくは国際規格として発行された場合、又はこれらの規格に取り込まれた場合には、この **JSA** 規格は廃止する。これらによるほか、この **JSA** 規格は予告なしに改正又は廃止することがある。

白 紙

# 災害情報共有のための共通データフレームワーク SIP4D-ZIP

## Common Data Framework for Disaster Information Sharing—SIP4D-ZIP

### 序文

“SIP4D-ZIP”は、各組織が運用するシステム同士が災害情報を相互にやりとりするための共通の枠組（フレームワーク）である。過去の大規模な災害対応においては、事前に予期することができない情報を多数の組織間で共有する必要がしばしば生じてきたが、それらの情報を電子データ化できたとしても、システムごとに読み込めるデータ形式が異なる、データの意味を記述する共通的な形式がない等の事情によって、貴重な情報が十分に活用されないことがあった。“SIP4D-ZIP”は、このような状況を改善するために、事前に内容を取り決めていないデータであってもシステム間で受渡しが可能になるような必要最小限の共通仕様を策定し、各情報システムにそのインタフェースを実装できるように規格化するものである。情報提供元システム又は利活用側システムの開発者がこの規格をガイドラインとして使用することで、滞りなく災害情報の相互共有が可能になり、災害対応におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）を促進し、来るべき国難級の災害に対する国家レジリエンスの強化に資することを旨とするものである。

### 1 適用範囲

このJSA規格は、災害対応機関が利用するシステム同士が災害情報を相互にやりとりするための共通データフレームワークである“SIP4D-ZIP”の仕様について規定する。

### 2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

**JIS X 0004** 情報処理用語（データの構成）

**JIS X 0401** 都道府県コード

**JIS X 0402** 市区町村コード

**IETF RFC 7946**, The GeoJSON Format

### 3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次によるほか、**JIS X 0004**による。

#### 3.1

#### SIP4D